

事業所名		放課後等デイサービス オールスター		支援プログラム（参考様式）		作成日		7 年		1 月		10 日	
法人（事業所）理念		「すべての子供は、社会の輪の中の光り輝く一員」を理念としています。											
支援方針		「自分を好きになる心」「思いを伝えられる心」「相手を尊重する心」「主体的に活動する心」を念頭に置き、体験学習、スポーツ、工作活動、クッキング、リトミック等、自発的な楽しい活動を通して、成功や失敗から自身を見つめ、素直に自分らしい表現を育みます。また、自立に向け社会性や日常生活に関わる所作、礼節を学んでいきます。											
営業時間		平日 11時30分～19時30分 祝・長期休業日 9時～17時				送迎実施の有無		あり					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	[健康状態の維持改善]・毎日、検温、視診を行い体調不良時の把握を行う。意思表示が難しい障害の特性や発達過程を理解し小さなサインを見逃さないよう支援する。 [生活習慣や生活リズムの形成]・生活習慣を形成し、健康維持、改善に努め、また食育に楽しく取り組んでいく。 [基本的生活スキルの獲得]・日常生活に必要な基本的技能を様々な活動や体験を通して身に付くよう、障害の特性に配慮し空間や時間を本児が分かるよう環境設定を行っていく。											
	運動・感覚	[姿勢の保持と運動、動作の基本的技能の向上]・日常生活の基本的動作の姿勢保持、運動、個別活動を通して筋力維持と強化、机上での正しい姿勢を学ぶ。 [保有する感覚の活用]・聴覚、視覚、触覚などの感覚を意識し十分に活用できるよう遊具、器具を使用した活動を行う。 [身体の移動能力の向上]・環境から情報を習得し必要なメッセージを選択し行動につなげる一連の認知過程の発達を支援する。・セグウェイ等を使用しタイミングやバランス感覚、強弱の力加減、方向感覚を習得する。 [感覚の特性と対応]・感覚特性を知り日常生活を快適に過ごせるよう環境調整も含め偏りを支援する。											
	認知・行動	[認知の発達と行動の修得]・物事の捉え方を決定する情報を見つめ、切り替えやリズム遊び等感覚を通した認知機能の発達を育む。 [空間、時間、数など概念形成の修得]・野外活動などで周囲の状況から適切な行動につなげる一連の認知過程を支援する。 [対象や外部環境の適切な認知と行動の修得]・認知の特性に配慮し適切な行動の選択肢を自発的に選び結果を共に検証していく。 コミュニケーションの困難から起こる行動障害の変換可能域を模索し予防につなげていく。											
	言語コミュニケーション	[言語の形成と活用]・出来事と言葉の意味を結びつけられるよう、体感の伴う連動した活動を企図する。 [コミュニケーション手段の選択と活用]・ペクス、文字等を使用し、状況に沿った言葉の選択や非言語の表出を支援する。 [言語の受容及び表出]・話し言葉、ペクス、記号を用い相手の意図を汲み取る、また自身の思いを伝えられるよう支援する。 [コミュニケーションの基礎的能力の向上]・一斉指示の理解、他者との活発な会話、自ら質問する事ができるよう支援する。											
	人間関係社会性	[自己の理解と行動への調整]・自身の感情と生理的な状態像を見つめ、自身の行動の特徴を理解し感情のコントロールを学び情緒の安定を支援する。 [他者との関り人間関係の形成]・相手への思いやり、手助け、お礼や依頼など、信頼関係を築く為の所作、礼節を育んでいく。 [仲間づくりと集団への参加]・スポーツや集団活動を通し、チームワークやルール、相手を尊重する事等のスポーツマンシップを学んでいく。											
家族支援		日頃から、本児の思いや家族の困り事や意向を聞き連携を密にする。 気軽に対面支援や訪問支援を行える環境を作る。 送迎時に日々の活動や出来事を共有する。				移行支援		並行利用所や学校などと情報共有を密にする。 学校への送迎時に積極的に情報収集に努める。 進学など環境変化に伴う時期に会議を行う。					
地域支援・地域連携		日頃より地域の行事への参加や催し物を開催し連携を図る。 連携会議では、各関係機関の情報収集と役割分担を協議し具体的な関わり方やポイントを確認する。				職員の質の向上		事業所内研修、法廷研修、また自己啓発の勉強会も定期的に行う。 個別支援会議を定期的に行う。 職員個々の役割とチームワークでのスタンスの共有。					
主な行事等		地域に向けたイベントを開催。学童、児童館、同業者との交流会の開催。地域のお祭りやイベントに参加。四季に合わせた催し物。四季に合わせた制作活動等。											